

## 令和元年度第1回御殿場市地域公共交通協議会議事概要

令和元年6月28日開催 13時30分～14時20分

御殿場市役所本庁5階大会議室

※委員18名出席（全18名）

※会長が必要と認めた者 1名

1 開会（全体進行：御殿場市未来プロジェクト課長）

2 挨拶（井上御殿場市企画部長）

地域の公共交通は客数減や運転士不足が大きな問題となっております。また、交通弱者である高齢者の方の交通手段確保は、ここ最近の高齢者による交通事故報道もあるため、急務かつ重大なものと考えている。後ほど、事業報告でもさせていただくが、当市は「路線バスを地域で育てましょう」を合言葉に利用者、事業者の皆様と市が力を合わせて全市的に公共交通に取り組んでいる。その成果も少しずつではあるが、確実出てきている。引き続き取り組んでいきたいと思っている。

併せて、2020東京オリンピックパラリンピックの開催が400日を切っている。バス、タクシー、電車などの公共交通に寄せられる期待は今まで以上に非常に高いものと考えている。それぞれの立場からさまざまな意見を出し合っていただきたい。

3 委員紹介（自己紹介）

4 協議事項

(1) 役員の選出について……資料1

仮議長として前会長の御殿場市企画部長が進行を行った。

（説明：事務局）

資料1 第5条第2項により役員は互選により選出する旨説明を行った。

小泉委員：事務局一任でどうか。

井上仮議長：ただいま、事務局一任とご意見いただいたがどうか。

事務局にて下記の役員案を提示した。

会 長（市企画部長 井上 仁士氏）

副会長（市区長会代表 中山上区長 小澤 薫氏）

監 事（市老人クラブ連合会会長 山崎 春俊氏）

異議なしとして、事務局案にて役員を選出した。

（以下、会長により進行）

(2) 平成30年度事業報告・決算報告について……資料2

（説明：事務局）

資料2に基づき、事業報告・決算報告・監査報告（代読）を行った。

いずれも異議なしとして原案どおり承認された。

(3) 令和元年度事業計画(案)・収支予算(案)について……資料3

(説明：事務局)

資料3に基づき、事業計画(案)・収支予算(案)について説明を行った。

いずれも異議なしとして原案どおり承認された。

(4) 公共交通利用促進運動の状況について…資料4、別紙①②③④

(説明：事務局)

(質疑等)

山崎氏(大倉委員代理)：2つあり、1つ目が別紙②についてだが、事務局より利用者が増加しているという話があった。伊豆半島などは利用者が減る一方の中、御殿場市は平成23年から微増ではあるものの、減ることなく伸びている要因は何なのか教えてほしい。

2つ目が別紙③にお得なICカードの利用方法について記載があった。どのようなシステムなのか富士急行さんに詳しく聞きたい。

福島氏(相原委員代理)：2つ目についてになるが、富士急行の路線バスもパスモ等のICカードを利用できる。バス特とって、1,000利用する毎に100円分ポイントが貯まり、次回利用する際に自動的に100円分引いてくれるもの。

山崎氏(大倉委員代理)：これは富士急行さんのシステムか。

福島氏(相原委員代理)：そうではない。パスモ協会というものがあり、そこでやっているもの。他のバス会社もやっている。

事務局：1つ目についてだが、平成27年度に対前年度比、6万人以上増加しているというご指摘だが、主に地域間幹線系統のテコ入れということで、富士急行さんのほうで、河口湖方面及び138号線のバスについて増便を行っていただいた。観光需要も取り込んだため、増加した結果となった。補足があれば、富士急行さんでお願いしたい。

福島氏(相原委員代理)：例年伸びているのは、インバウンドのFIT(海外個人旅行)のお客様が多くなってきており、団体で動いていた形から、個人で動く形になってきている。その関係で箱根から御殿場アウトレット、河口湖方面や御殿場市内へという動きが増えている。さらに、御殿場市の取組の年に3回乗りましょうという取組により、本来減少傾向である一般生活路線もほぼ前年並みで推移しており、全体的に伸びた結果となった。

久保田氏：資料3にある市のホームページ内の公共交通ページの活用の説明がないが、どのような活用を行うか教えてほしい。

また、別紙2の細かい路線の利用状況を次回の公共交通協議会でよいので示していただきたい。

事務局：資料3のホームページ内の活用だが、利用の少ない便から減便、廃線になるといった状況であることから、交通事業者よりなるべく一般市民の方にも利用促進をお願いしてほしいと一昨年より強く言われており、市のホームページやフェイスブック、新聞関係を含め利用促進を行っている。今までは、市のホームページにこの協議会の資料などを掲載していたが、目立たないところであったため、トップページより飛べるようにした。もう一点の路線毎の輸送人員の内訳については、すぐに出てこないため、次回までに用意する。

井上議長：ホームページについてだが、御殿場線については御殿場線活用推進協議会という沿線10市町で活動しているため協議会のホームページがあるが、この協議会は市単独で動いているということで市のホームページ内にあるという状況。

(5) 乗合バス路線退出意向等の申出への対応について……資料5

(説明：事務局)

この協議事項については、関係する交通事業者である富士急行及び小山町（町長戦略課：山口氏）から補足説明。

井上議長：御殿場市の地域住民の方から、デマンド交通に対する要望はあるが、御殿場市で取り組んでいるタクシーバス利用券助成は、個々の利用したい時に使えるという環境を整えていくほうが当市にとってはコスト面においても利用者の利便性においても有利であるという検証して現在の仕組みとなっている。タクシーバス利用券の今後については検証中という考え方であることから、検証の中で考えていきたい。

(質疑等)

山崎氏（大倉委員代理）：路線バス退出意向の届出については、退出はないということ で議題に載せない（路線維持で提出）というのでよいか。

事務局：その通り。

5 その他

(1) ユニバーサルデザインタクシー導入促進について……資料6

(説明：事務局)

(質疑等)

久保田委員：資料6に予算の範囲内とあるが、年間何台補助が受けられるのか。

事務局：5台分を確保してある。

山崎氏（大倉委員代理）：静岡県からも補助金を出しているが、併用が可能か。

事務局：市が補助する条件として、国及び県の補助を受けることとしている。

事務局：A3版の横型参考とある資料は、御殿場市内を運行している富士急行さんのバス路線図となっている。利用される際に活用してもらいたい。また、

御殿場駅発着東田中線というチラシだが、運賃一律150円とある。富士急行さんより一言お願いしたい。

福島氏（相原委員代理）：今年4月より御殿場駅の乙女口が共用開始となったことから、御殿場駅富士山口～富士病院～御殿場駅乙女口～花みずき通りを通過し、富士急行の車庫へ行くルート。一回乗れば150円という金額で土日は動かないが平日動いているため、是非ご利用をお願いしたい。

また、裏面のシルバー定期券だが、富士急グループの路線バスはすべて乗り降り自由ということで、リーズナブルとなっている。路線バスを乗り継げば、富士山一周も可能となっている。

井上会長：今回御殿場駅箱根乙女口の整備を行い、御殿場線でも数少ない自由通路を持っており、富士山口と箱根乙女口どちらもバスの発着所がある。箱根乙女口はシャトルバスがメインとなっており、富士山口は路線バスが中心という形。是非御殿場駅を利用する際には、整備した箱根乙女口も見てもらいたい。

事務局：当市の施策である、バスタクシー利用助成券については、一定の条件のもと年間1万円助成している。助成券については、定期券にも利用できるもので身近な方がいれば活用してもらえればと思う。

## 6 閉会